

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

企業理念に「熊日は、人と自然の共生を求め、こころ通う社会の実現を目指す」とうたっており、SDGsとの親和性は高い。具体的な取り組みを積み上げていくことで自社のSDGs達成を目指すだけでなく、新聞社の特徴を生かし報道やキャンペーン、イベントなど全機能を挙げて熊本県全体のSDGs達成を働きかけることにも意識して取り組んでいく。

<SDGsに関する重点的な取り組み及び指標>

三側面 (分野に◎)	SDGsに関する重点的な取り組み	指標
◎環境 ○社会 ○経済	熊本の植生、畜産、水源涵養、地下水、河川、海洋へと至る生態系循環の要にある阿蘇の草原の保全に取り組む。	・野焼きの継続支援 ・阿蘇草原再生キャンペーンへの参画
○環境 ◎社会 ◎経済	賞味期限の迫った食品を集め、廉価販売し、食品ロスの削減につなげる。フードドライブも開催し、子ども食堂に無償提供する。	・マルシェ(廉価販売会)の開催(年間8回以上) ・子ども食堂への食材提供
○環境 ○社会 ◎経済	意欲的な農業経営を顕彰し、受賞者の取り組みを報道、紹介することで、生産性向上を支援し、若手農業者の育成にもつなげる。	・熊本県農業コンクールの開催(毎年実施) ・農業コンクール特集紙面の発信

<パートナーシップ>

阿蘇の草原再生キャンペーンでは県、九州農政局、財団法人阿蘇グリーンストック、地元放送局などと「阿蘇草原再生千年委員会」を結成し、取り組んでいる。食品ロス削減に向けては県と地元商社ネクストソサエティーと熊日で連携協定を結び、マルシェ開催を続けていく。農業コンクールは、県および農業関係10団体と共同で主催し、継続していく。

・「SDGsに関する重点的な取り組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取り組みを記載してください。なお、取り組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。

・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取り組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携があれば記載してください。

○ SDGsに関する重点的な取り組み及び指標に係る進捗状況(※更新の場合のみ。)

○登録状況:第 期登録(登録年月日: 年 月 日)

○登録番号: 号

<SDGsに関する重点的な取り組み状況、前期の指標及び実績>

三側面 (分野に◎)	取り組みの状況	前期の指標	実績
○環境 ○社会 ○経済			
○環境 ○社会 ○経済			
○環境 ○社会 ○経済			

・「登録状況」及び「登録番号」を記載してください。

・「取り組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取り組みの実施状況や指標の達成状況を記載して

ください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。